

【聴覚障害者団体向け説明会（12月22日開催分）】

質疑応答時のまとめ

市民： 駐車場について、出庫の際に駐車券がうまく作動しないなどのトラブルがあった場合に出庫できない可能性がある。このような場合、障害がなければ非常呼び出しボタン等で状況を伝えることができるが、聴覚障害者は音声でのやり取りができないため、駐車場の管理室などが近くにあるとよい。

市： 駐車場の運用については、これから詳細を検討する。当面は駐車場出入口に車両誘導員を配置することを予定しているため、トラブルがあった場合はドライバーの元へ駆けつけて対応することを考えている。

市民： エレベーターが止まった場合、音声でのやり取りができないため、他の連絡手段があるとよい。

市： エレベーター内の閉じ込め防止対策としては、緊急時に自動的に近くの階や1階に着床し扉が開くことで、エレベーター内に閉じ込められることがないようにする。

市民： 総合案内が庁舎の中心にあるが、入口は西側であるため、庁舎管理室の場所に総合案内があったほうがよい。

市： おもやのみ稼働時は西側の府中街道側がメインの入口となるため、庁舎管理室の近くに別途総合案内を設ける。また、庁舎管理室にも担当者が常駐している。

市民： 障害者福祉課、庁舎案内、車両管理室に手話通訳用のタブレットを設置してほしい。

市： 現在、障害者福祉課にタブレットを1台設置し運用している状況である。現状の運用で問題なく使用できているが、タブレットの活用状況や数量等について統計を取り、検討していく。

市民： 新庁舎の会議室でWi-Fiは使えるのか。

市： 市民利用が多い1階ロビー、待合については公衆無線Wi-Fiを整備する予定であるが、会議室については設置しない予定である。

市民： エレベーターの中に防犯カメラやミラーは設置しているか。

市： 防犯カメラとミラーはすべてのエレベーターに設置している。

市民： トイレの数が少ないように感じるが、新庁舎にはいくつあるのか。市民が多く利用するためトイレの数は多い方がいいと思う。

市： トイレの数については在館者数をもとに決定している。

市民： デジタルサイネージに流れる内容が手話通訳されるとよい。手話の普及にも役立つと思う。

市： 市からのお知らせをすべて手話通訳で表示することは難しいが、視覚的にわかりやすくなるよう文字の大きさや配色に配慮する。

市： 現状では情報量等の観点から導入は難しいが、情報を発信する際の手話サービ

スの重要性については、条例を制定し全庁的に認識している。庁舎建設時に対応することは難しいかもしれないが、今後技術的に新しいものがあれば取り入れるなど、手話サービスについても検討していく。

市民： 火災の際に煙で視界が遮られる可能性があるため、避難経路を飛行場の滑走路のように光で誘導することはできないか。

市： 火災の発生時には煙感知器が作動し、防災センターで警報が鳴るような仕組みとしている。その後、全館放送を行い、職員が避難誘導を行っていくため、煙が充満する前に避難ができるよう検討している。また、デジタルサイネージを活用し、視覚的に状況をお知らせできるような方法についても検討している。

市民： 耳の不自由な人の中には文字が苦手な方も多いため、文字以外でお知らせすることは可能か。

市： 現状、すべての情報を手話で表現することは難しいが、重要なものについては手話通訳を表示する方向で検討したいと考えている。例えば避難誘導など固定の情報については手話化できる余地があると考えている。なお、ニュース等日々状況が変わる情報については現時点では対応することが難しいが、少しずつでも手話による表現を増やしていきたいと考えている。

市民： 障害者福祉課の場所は確定しているか。

市： 府中街道側の入口から一番近い位置としている。

市民： 災害時のお知らせは放送では分からないため、電光掲示板やデジタルサイネージで知らせることは可能か。

市： デジタルサイネージの運用については現在検討中であるが、視覚的にも避難誘導をしたいと考えている。表示方法については関係課と協議のうえ検討していく。

市民： 音声の情報をそのままサイネージに表示するという理解でよいか。

市： 災害情報をサイネージに掲示し、お知らせする。

市民： 駐輪場はあるか、また通り庭は自転車で通行できるのか。

市： 駐輪場についてはおもや北側、府中街道側、大國魂神社側などいくつか設けている。通り庭については自転車に乗ったまま通行することは安全面の観点から避けたいと考えており、運用面については今後検討していくが、基本的に歩いて通行する運用としたいと考えている。

市民： トイレの防犯対策はあるか。

市： トイレはエレベーター付近に設けており、エレベーターホールには防犯カメラを設置する。また、各トイレに1か所非常呼び出しボタンを設けており、押すと庁舎管理室につながる。

市民： エレベーターのドアはガラス張りで外が見られるのか。

市： ガラス張りではないが、災害発生時にはエレベーター内の液晶にお知らせを表

示するとともに、近くの階へ停止し扉が開くことで、安全確保を図っている。

市民： 緊急時にはデジタルサイネージにお知らせを表示するという話があったが、自身のスマートフォンに通知が来るようなアプリでの対応はできないか。

市： 現状、緊急メール配信サービスを市で提供している。

市民： 火災等が発生した際などにピクトグラムが発光するような仕組みはできないか。

市： 火災発生時には、避難の方向と避難口を明確にすることが重要であるため、消防法で求められている避難誘導灯を設置することで視覚的にも避難誘導を行いたいと考えている。あわせてデジタルサイネージで視覚的にお知らせすることを考えている。